

公益財団法人岡山文化芸術創造

令和8（2026）年度 事業計画書

当財団は、令和2年4月1日の法人合併により「公益財団法人岡山文化芸術創造」と名称を変更しました。岡山文化芸術創造にとっての「創造」とは、人と街との関係の中で、これまで形にできなかった価値を生み出し、文化を創っていくこと。豊かなまちづくりに貢献するため、さまざまな事業を企画し、大切な文化施設を効率的に、かつ安全に運営していくことで、地域社会の発展に寄与してまいります。

岡山シンフォニーホールは、令和8年度より第4期指定管理者（5年間）として業務を受託する方向で進んでおり、岡山芸術創造劇場につきましては、第1期指定管理者（10年間）として6年目を迎え、劇場ハレノワオープンから3周年を迎えます。それぞれの特徴を活かしつつ、また相乗効果を図ることで、それぞれが文化芸術の創造・発信の拠点となることを目指します。

また、文化芸術の振興に関する、多様な文化事業を創造し展開することにより、地域の文化活動の活性化と、文化芸術を担う次世代の人材育成等を図り、『岡山に暮らす人々が地域への愛着を持ちながら、いきいきと暮らせる豊かな文化都市を目指す』という岡山市の文化振興施策や岡山県が掲げる文化振興施策と連携して、市民県民のすこやかで心豊かな生活の向上及び地域社会の発展に寄与する事業を展開してまいります。

●公益目的事業

文化芸術の振興に関する、多様な文化事業を展開することにより、市民県民のすこやかで心豊かな生活の向上及び地域社会の発展に寄与することを目的に、次の6種類から構成する事業を実施します。

- (1) 文化芸術の創造・発信、振興及び普及に関する事業
- (2) 文化芸術における多世代の交流及び参画の機運醸成に関する事業
- (3) 文化芸術の担い手育成に関する事業
- (4) 文化芸術を鑑賞する機会の提供に関する事業
- (5) 文化芸術活動への支援及び研究に関する事業
- (6) 文化芸術施設等の管理運営に関する事業（指定管理事業の一部）

●収益事業

施設の多目的利用の観点から、文化施設等を学術会議や講演会、記念式典など当財団の公益目的以外の利用に貸与する事業を行います。

- (1) 文化芸術施設等の管理運営に関する事業（指定管理事業の一部）
- (2) 文化芸術に係わる事業を推進するための附帯事業

令和8(2026)年度 事業計画

●公益目的事業

(1)文化芸術の創造・発信、振興及び普及に関する事業

当財団が運営する岡山フィルハーモニック管弦楽団(以下、岡フィルという)や、多様な分野のアーティスト、市民県民、各種団体との協働により、多種・多彩な文化芸術事業を実施。文化芸術を創造し、広く一般に質の高い文化芸術に触れる機会を提供することで、文化芸術の振興を図るとともに、文化芸術の普及にも努めます。

ア. 岡山フィルハーモニック管弦楽団定期・特別演奏会事業

- a) 定期演奏会
- b) ベートーヴェン「第九演奏会」
- c) ニューイヤーコンサート
- d) 岡山県 共同主催公演
- e) 東京特別公演

イ. 青少年音楽普及事業

- a) ホールコンサート「岡山市小・中学校音楽鑑賞教室」
- b) 県下の学校を訪問して行う岡フィル学校公演
- c) 文化庁/学校巡回公演

ウ. 未就学児から参加できる事業

- a) 親子で楽しむコンサート
- b) ホールフェスティバル事業「シンフォニーは友達！」

エ. ネットワーク事業

- a) 自治体との連携事業
- b) 病院や福祉施設等で行う無料公演「レインボーコンサート」
- c) 岡山大学との連携事業「Jホール レインボーコンサート」
- d) 岡フィル依頼公演事業
- e) インターンシップ受け入れ事業

オ. おかやまアーツ・フェスティバル運営事業

カ. 演劇・ダンス・伝統芸能等の岡山芸術創造劇場事業

- a) 「拝啓 ナイチンゲール様」

(2)文化芸術における多世代の交流及び参画の機運醸成に関する事業

文化芸術への敷居を低くし、多世代の人々が日常的に様々な文化芸術を体験する機会を提供することで、多様な文化価値に触れ、豊かな情操を育むとともに、文化芸術への興味・関心を引き出し、文化芸術の振興・普及を図る。周辺地域で開催される優れた芸術公演等の情報を収集し、ウェブサイト等の広報物で広く提供するなど、地域の文化情報発信拠点として貢献します。

- a) 「歌え！わが心」講座

- b) 「岡山シンフォニーホール・岡山フィルハーモニック管弦楽団 友の会」運営事業
- c) 多世代向け演劇企画

(3)文化芸術の担い手育成に関する事業

レベルの高い指導による講座、公演等で、多種・多彩な文化芸術ジャンルの技能・知識の向上を図るとともに、豊かな情操(感受性・創造性・表現力)や、コミュニケーション能力を養うことで、地域の文化活動を担う人材や団体、文化芸術の担い手を育成します。

また、全国で活躍しているアーティストを学校等に派遣し、演劇・ダンスなどの体験プログラムを実施します。

ア. プロ講師による指導で歌、ダンス、器楽等を基礎から学ぶ講座、ワークショップ、及び発表公演

- a) 岡フィルと共演しませんか シリーズXXI I am a SOLOIST
- b) 東京藝術大学音楽学部早期教育プロジェクト
- c) 「日本歌曲塾 in 岡山」公開レッスン、「名曲を歌いましょう」講座

イ. ジュニア育成事業

- a) 岡山市ジュニアオーケストラ
- b) 岡山市ジュニア合唱教室
- c) 岡山市ジュニアヴァイオリン教室

ウ. エキチカ artbox 運営事業

エ. 美術・アート・メディア芸術分野ワークショップ

オ. 舞台芸術体験ワークショップ

- a) ハレルワークショップ
- b) 劇場と高校・大学連携事業
- c) アウトリーチ事業『アーティストとであう』

カ. ホールサポーター育成事業

(4)文化芸術を鑑賞する機会の提供に関する事業

多様な舞台芸術公演を国内外から招へいし、地方においては触れる機会が少ない質の高い芸術の鑑賞機会を提供します。

- a) 音楽劇「コーカサスの白墨の輪」
- b) パルコプロデュース「ル・コント」
- c) 彩の国シェイクスピアシリーズ「リア王」
- d) ミュージカル「ジョセフ・アント・アメージング・テクニカー・ドリームコート」
- e) ジャン・レノ ソロパフォーマンス「らくだ」
- f) The MOST in JAPAN 2026
- g) 演劇公演
- h) ミュージカル公演

(5)文化芸術活動への支援及び研究に関する事業

多様で豊かな地域資源を活用し、様々な交流を通じた新たな文化芸術の創造、市民県民の文化芸術活動への支援、日常生活の中で気軽に文化芸術に触れることができる豊かな環境づくり等をとおして、市民県民が誇りと愛着を持って暮らせるまちづくりを目指します。また、文化芸術に関する各種調査・研究を行い、時代に即した文化事業、実施体制づくりを推進します。

a)劇場ラボ

(6)文化芸術施設等の管理運営に関する事業（指定管理事業の一部）

文化芸術施設等を貸与し、演奏会、公演、興業、発表会、練習など主に文化芸術活動における「表現の場」、「鑑賞の場」、「交流の場」として利用していただくもので、ホール及び劇場の重要な役割であるコミュニティー醸成の場ともなっています。さらに、施設を貸し出すことによりプロの文化芸術団体やアーティストの公演が行われ、地域住民が一流の芸術作品に触れる機会が拡大します。

また、当財団が行う自主文化事業をはじめ、地域の文化芸術団体がホール及び劇場を利用することによって文化活動の育成が図られ、さらには施設を中心に地域文化のネットワークが形成されるなど、文化芸術の創造・振興・普及が図られることから、文化芸術施設等の管理事業は当財団の目的達成のための手段として重要であると考えます。

ア. 岡山シンフォニーホール

令和8年度から令和12年度の5年間、岡山市より岡山シンフォニーホールの4期目の指定管理者として業務を受託する方向で進んでいます。

貸与施設：岡山シンフォニーホール

大ホール（客席 3層構造 2,001席）、イベントホール（定員 200人）、和風ホール（定員 100人）、スタジオ1（定員 120人）、スタジオ2（定員 30人）、その他指揮者室、楽屋、控室等附属設備

また、令和7年6月から岡山シンフォニーホールの大規模改修工事が始まることを受けて、施設備品等の移転及び保管、事務所及び受付機能の移転、並びにリニューアル後の施設利用促進の広報企画等を行います。

イ. 岡山芸術創造劇場

令和3年度から令和12年度の10年間、岡山市より岡山芸術創造劇場の指定管理者として、1期目の指定を受け今年度が6年目となります。

貸与施設：岡山芸術創造劇場

大劇場（客席 3層構造 1,753席）、中劇場（客席 2層構造 807席）、小劇場（最大300人収容）、アートサロン（最大300人収容）、中・小練習室、ギャラリー、その他 楽屋、オープンロビー、制作工房（3室）

●収益事業

(1)文化芸術施設等の管理運営に関する事業（指定管理事業の一部）

施設の多目的利用の観点から、文化芸術施設等を学術会議、講演会、卒業式、記念式典など当財団の公益目的以外の利用に貸与する事業を行います。

貸与施設：岡山シンフォニーホール

大ホール（客席 3層構造 2,001席）、イベントホール（定員 200人）、和風ホール（定員 100人）、スタジオ1（定員 120人）、スタジオ2（定員 30人）、その他指揮者室、楽屋、控室等附属設備

貸与施設：岡山芸術創造劇場

大劇場（客席 3層構造 1,753席）、中劇場（客席 2層構造 807席）、小劇場（最大 300人収容）、アートサロン（最大 300人収容）、中・小練習室、ギャラリー、その他 楽屋、オープンロビー、制作工房（3室）

(2)文化芸術に係わる事業を推進するための附帯事業

ア. プレイガイド事業

当法人の公益目的事業の推進に資するため、文化芸術事業等の鑑賞券、入場券を販売する事業を行います。

イ. カフェ事業

当財団の公益目的事業の推進に資するため、岡山芸術創造劇場2階オープンロビーにて、公演時に飲料等を提供可能とする簡易的なカフェコーナーを設置し、運営します。

ウ. その他事業

当財団の公益目的事業の推進に資するため、観客や事業関係者の弁当の手配等を行います。